

市議会だより No.50

平成30年9月15日



熱気あふれる防府おどりの様子

7月定例議会

| | | |
|---------|-------|--------|
| 議案の概要 | | P2~P3 |
| 市長 所信表明 | | P3 |
| 一般質問 | | P4~P10 |

| | | |
|----------------|-------|-----|
| 議会懇談会 | | P10 |
| 意見箱・議会報告会参加のお礼 | | P11 |
| 議会日誌 | | P12 |
| 9月定例議会の予定 | | P12 |

議会中継がスマートフォンでもみられます!! **防府市議会** で検索



平成30年 7月 定例議会

7月定例議会は、新市長の就任に伴い、通常より約3週間遅い7月9日から8月1日までの会期24日間の日程で開催されました。

平成30年度一般会計の補正予算をはじめ、平成29年度上下水道事業決算、防府市税条例等の一部改正など、議案16件、認定1件、承認3件、報告24件、選任1件、意見書1件を審議しました。

池田新市長の所信表明と主な議案等の概要をお知らせします。

また、この度上程された議案等は全て、全会一致で可決しました。

条例

■市税条例等の一部改正

地方税法の改正に伴い個人市民税に係る新たな所得要件の創設や、たばこ税及び固定資産税の見直しを行うものです。

■地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正

企業の本社機能等の移転及び市内企業の本社機能等の拡充に伴う固定資産税の特例措置の適用期間を2年間延長するものです。

■放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員の資格要件を拡大し、その規定を明確にするものです。

■市営住宅設置及び管理条例の一部改正

市営大平山住宅のうち、老朽化により解体した4棟12戸の用途を廃止するものです。

一般議案

■市道路線の認定、変更及び廃止

認定路線・塚原6号線ほか22路線
変更路線・上地1号線ほか4路線
廃止路線・伊佐江15号線ほか1路線

■災害対応特殊消防ポンプ自動車の取得

消防力の維持強化を図るため、水槽付消防ポンプ自動車を購入するものです。

契約相手 藤村ポンプ㈱

契約金額 3,801万6千円



■大道小学校校舎改築（建築主体）工事請負契約

契約相手 成長建設㈱・みどり建設㈱

共同企業体

契約期間 平成31年7月5日まで

契約金額 4億9,215万6千円

予算

■平成30年度一般会計補正予算

13億4,663万2千円を増額し、補正後の予算総額を411億3,533万5千円とする予算案が提出されました。

主な事業（補正額）は次のとおりです。

・社会福祉施設整備補助事業

保育所施設の整備や改修等に対する補助金（瑞祥幼稚園、右田幼稚園、認定こども園鞠生幼稚園、西須賀保育所）

（1億4,980万1千円）

・認定こども園施設整備補助事業

認定こども園（計画含む）施設の整備や改修等及び防犯対策整備に対す

る補助金（認定こども園佐波幼稚園、認定こども園多々良幼稚園、右田幼稚園、認定こども園鞠生幼稚園）

（4,777万3千円）

・教育指導管理業務

9月14日から始まる「山口ゆめ花博」に市内小・中学生が学校行事として参加する際のバス借上げ料に対する補助金

（107万円）



・文化福祉会館管理業務

平成26年度に一度除去しているが、今回新たに発見されたアスベスト除去に係る工事費

（1,800万円）

決算

■平成29年度上下水道事業決算

水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計の決算について、上下水道事業決算特別委員会を設置し、今議会閉会后に継続審査することとしました。

池田新市長の所信表明

7月定例議会の開会に当たり、池田新市長が市政運営の基本姿勢について、所信表明を述べられました。(以下、抜粋。)



私は、市政の運営に当たり、子どもから高齢者まで、笑顔と笑い声の絶えない「明るい元気で豊かな防府市」、市民の皆様の声をしっかりとお聴きする「市民が主役の防府市」をスローガンに、誠心誠意取り組んでまいります。そのため的重要施策として、「市庁舎の早期建替え」、「産業力の強化」、「へんろい便利」の実現を進めてまいります。

防府市ではここ数年、多額の基金の取りこぼしに頼る財政運営が続いており、「単独市制」を貫く中で、重要施策を進めていくために、私は、自らが先頭に立って、執行部一丸となってスピード感をもって市政運営を進めてまいります所存でございますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

人事

■教育委員会委員の選任

新任 温水 祥代さん(南松崎町)

報告

■市出資法人の経営状況報告

土地開発公社、水道センター、文化振興財団、農業公社、地域工芸・地場産業振興センターの5つの出資法人の経営状況報告がありました。

■指定ごみ袋製作業務委託契約

契約相手 山口県業業(株)防府営業所
 契約期間 平成30年6月4日から平成30年11月30日まで
 契約金額 7,702万1,280円

■地域包括支援センター業務委託契約

・防府東地域包括支援センター
 契約相手 (福) 周陽福祉会
 契約期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで
 契約金額 9,354万3,480円

・防府西地域包括支援センター

契約相手 (福) 博愛会
 契約期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで
 契約金額 9,302万4,480円

・防府南地域包括支援センター

契約相手 (医) 松寿会
 契約期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで
 契約金額 7,763万3,400円

・防府北地域包括支援センター

契約相手 (福) ひとつの会
 契約期間 平成30年4月1日から平成33年3月31日まで
 契約金額 9,290万3,400円

意見書

■通級指導教室増設を求める意見書

6月5日の議会懇談会(P10参照)を受け、市議会として通級指導教室の増設を県に求めるもので、次の意見書を全会一致で可決しました。

「特別支援教育を推進するために学校教育法等が一部改正される中、通常の学級での学習におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童生徒が多く存在し、障害による学習上または生活上の困難を改善、克服するため、通級による指導を受けている。

文部科学省が行った「平成29年度通級による指導実施状況調査」によると、通級による指導を受けている児童生徒数は、前年度から10.8%増加しており、通級による指導のニーズは年々高まっている。

現在、当市の通級指導教室設置数は、小学校2校と中学校1校のみで、県内他

市と比較しても明らかに少なく、必ずしも十分とはいえない状況にある。多くの児童生徒は他校通級を余儀なくされ、授業の途中で抜け他校通級しなければならぬ心理的ストレスや、保護者の送迎負担は大きなものとなっている。また、中学生になる頃には自我が芽生えはじめ、心理的葛藤による他校通級への抵抗や、自転車で遠距離通級することへの安全面の不安などを理由に、断念せざるを得ない生徒もいる。

今年度から導入された高等学校における通級指導により、切れ目のない指導・支援が可能となった。

県におかれては、特別な指導を必要とする児童生徒の健やかな成長、発達を保障するために、本市の小・中学校に通級指導教室を増設されるよう求める。」

市議会議員補欠選挙

吉村祐太郎氏当選

市議会議員補欠選挙の投・開票が5月27日に行われ、吉村祐太郎氏(無所属・27歳)が当選されました。現職議員の中では、最年少となります。また、所属委員会等は左記のとおり決定しました。

- 会 派・・・爽風会
- 常任委員会・・・総務委員会
- 特別委員会・・・庁舎建設調査特別委員会

Q&A

一般質問



7月定例議会では、19名の議員が市政について質問しました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を10月に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

池田市政について (庁舎建設・農業試験場の誘致・農道牟礼小野線)

曾我 好則(自由民主党清流会)

問 庁舎の建替は、市長が選挙中訴えた「現庁舎敷地」で民意が示されたが、今後どのように進めるのか。また、「駅北公有地」も今後どのようなまちづくりに取り組まれるのか。

市長 市民の命が最も大事であり、防災・減災の拠点として早期完成と財政負担の軽減が期待できる「現庁舎敷地」がより良い選択と考える。全体的なスケジュールを前倒しし、国の市町村役場機能緊急保全事業が活用できるよう期限の平成32年には実施設計に取り掛かれるようスピード感をもって取り組みたい。同時に「駅北公有地」については、民間活力の導入を基本とし、立地適正計画との整合を図り、中心市街地活性化基本計画に反映させたい。

問 選挙で訴えられた農業試験場の誘致は、農業
市長 庁舎の建替は、市
長が選挙中訴えた「現庁
舎敷地」で民意が示され
たが、今後どのように進
めるのか。また、「駅北
公有地」も今後どのよう
なまちづくりに取り組ま
れるのか。
大学校との統合で、本市
の農業振興にどのよう
に寄与し、今後の誘致の実
現に向けた取組は。この
誘致に併せ、農道牟礼小
野線の早期開通は。
市長 地域の活力源は産
業であり、中山間地域を
含めた農業の活性化は市
全体の活性化に欠かせな
い。統合が実現できれば、
先端技術開発や高度な技
術を持つ即戦力人材の育
成に繋がり、本市の担い
手の育成などで農業の再
生強化に大きく寄与す
る。県は11月に基本計画
を策定するとしており、
この動きをチャンスと捉
え、本市の地理的優位性
を活かし、積極的に要望
活動を行いたい。農道牟
礼小野線は、時間短縮や
災害時の避難道になるな
ど、大きな役割を果たす。
今後は、より強力な推進
体制を構築し、早期完成
に向け、積極的に取り組
みたい。

上山満之進翁の顕彰と 三哲文庫記念公園を！

山田 耕治(絆)

問 上山満之進翁の没後
80年展の来館者数と今後
の計画は？

教育長 来館者数は1、
060人、資料は図書館
の展示室に常設している
が、上山翁を広く市民の
皆様へ知っていただきた
いと考えており、今後ど
のような内容が良いのか
検討したい。

問 今後の顕彰と、教育
の中で子ども達への紹介
は？
教育長 これまでに電子
書籍化した上山翁関係資
料の図書館ホームページ
での公開や、伝記『上山
満之進の思想と行動』の
発行、リーフレット『防
府図書館の前身「三哲文
庫」創設者 上山満之進
略伝』の刊行などを実施
している。リーフレット
は市内の小・中学校へ配
布し、授業の中で活用を
図ることとしている。
問 三哲文庫跡地を、上
山満之進翁を顕彰する意

味も込めて、「三哲文庫
記念公園」と命名変更し
ては？
教育長 没後80年を契機
に通称名は変更を検討し
たい。

問 アスピラートの特設
コーナーを「上山満之進
翁の部屋」へ変更して
は？
教育長 三
哲文庫の創
設者であり、
「防府図書
館の父」であることから
上山翁の顕彰の拠点は、
防府図書館が相応しいと
考えている。

その他の質問項目
◆台湾^{台湾}嘉儀市との姉妹都
市、パートナーシティ
構想を！
◆市で高
校野球
の予選
ができ
る野球
場整備
を！



安全な学校環境と コミュニティ・スクールの充実

河村 孝(公明党)

問 新潟市の女子児童事件や大阪府北部地震等、児童が犠牲になる事件が頻発。通学路の死角、ブ

ロック塀を含む学校施設の点検状況はどうか。

教育長 教職員による毎月の施設点検や年1回の通学路総点検及び隔年で業者による遊具点検を実施。同地震が発生したこ

とにより、国から緊急点検の指示を受け、小学校36力所、中学校33力所で不適合の可能性があるブ

ロック塀等を公表。貼紙等で注意を促し、順次、撤去や改修等の措置を行う。

問 他市と比べて、ブ

教育部長 建築士の職員による目視で確認をしたため時間を要した。

問 子どもたちを守るために、コミュニティ・

スクールや学校運営協議会の役割が重要。地域コ

ーディネータや、拠点のコミュニティルームを各校に設置すべきでは。

教育長 公民館の社会教育指導員が、地域コ

ーディネータとして学校と地域とを結ぶ。平成30年度からアドバイザー3人を配置し、各校で訪問指導。校舎改築時には、協議の上、地域開放スペースを

設置。

問 市総合教育会議の今後の役割や取組は。

提案 中心市街地の活性化は商店街の活性なくしてはあり得ない。商店街活性化の具体策を提案したい。

提 全国で「脱クルマ」を通じて商店街を活性化した先進事例がある。それは、「歩行者天国」でヒ

トを溢れさせ、賑わいを創出し、中心市街地での消費を拡大させるという

方法である。

「まちなか」から一時的、区域限定的にクルマを締め出すと、そこに人が集まり、溢れ出すとい

う現象が生まれる。この現象を活かしたのが、「歩行者天国」という大成功

モデルである。「歩行者天国」には大量の人が集まり、溢れ出

す。その理由は、歩行者の心理としてクルマがいなければ安心し、ストレスが消え、笑顔が増え、ハッピーな気分になるためである。

中心商店街活性化の具体策

今津 誠一(自由民主党市政会)

また、人は賑わいのある場所を好む性向がある。防府の間は大の祭り好きが多い。「歩行者天国」も祭りの一形態だとすると、防府のまちにピッタ

リ嵌る。

「歩行者天国」とさまざまなイベントをコラボレーションすれば、中心市街地にヒトが溢れ出すと確信している。人が集

まることによって消費の機会が増え、それに併せて新たな商売も生まれ、民間投資を誘発すること

にもなる。中心商店街活性化策として「歩行者天国」の実施を提案する。

市長 クルマに依存し過ぎない、快適に歩くことができるまちづくりは重要と考えている。賑わいを創出し、経済効果が出る取組について検討して

まいりたい。



郊外で公共交通の実証実験を！ 免税軽油の手続き・災害対応について

石田 卓成(自由民主党)

問 市長は選挙において100円循環バス等の導入を約束された。お店や

病院・金融機関が近くに無く、バスを必要とされている郊外で、早急に複

数の形で実証実験を行って欲しい。地域によっては既存のバス運賃を全て100円にして欲しいとの声もあるが財政的に厳しいのでは。

市長 市民の声を聞き、100円循環バスを1つの例で挙げた。全てのバスを100円にすると新たに2億円の負担が生じるので指摘のとおり実施は困難である。

問 ドアtoドアのデマンド交通で、予約に応じた配車を自動で効率的に行う「コンビニクル」というシステムを実証実験で導入してみたいかがか。

市長 今後、様々な実証実験を検討する中で効果も含めて研究する。地域の皆様の声をしっかりと

聞きながら全力で取り組んでいく。

問 免税軽油の手続きが市内で出来なくなり困っている農業者が多いが、市内で手続きが完結するようにならないか。

産業振興部長 平成31年度に向けて、共同による申請手続きなどを県税事務所に相談したい。

問 消防組織の広域化は難しいと考えているが、指令業務だけは共同運用すべきである。実現すれば災害時の応援体制がスムーズになり、消防力の強化、コスト削減に繋がると考えるがいかがか。

市長 必要性を感じているので、しっかりと研究し、積極的に推進していく。

問 防災士と消防団を兼務すると災害時に自治会に防災士が不在となるが、今後の対策は。

市長 消防団員以外の防災士の早期養成を自治会に働きかける。

スポーツセンタープールの管理運営、ジャンボタニシの対策について

宇多村 史朗(自由民主党市政会)

問 スポーツセンタープールの利用状況と施設管理体制は。

市長 利用者は年間2万人前後である。施設管理体制については、平成27年4月1日からアシックス・ピークルーエッセ・日本水泳振興会共同体が管理運営を行っている。

問 ロッカールームの排水が悪く、ドライシステムとなっていないが、今後の対策は。

市長 排水対策について、引き続き改善策を検討する。

問 流水プールをスイミングスクール会場として利用できないか。

市長 市体育施設設置及び管理条例の規定から、現時点では困難である。**要望** 監視体制の充実や安全面について、今後協議させていただきたい。

問 ジャンボタニシの生息状況は。

産業振興部長 平成29年



ジャンボタニシの被害

度の生息面積は、平成25年度の10倍で195ha。

問 他市のジャンボタニシ対策の取組は。

産業振興部長 周南市・柳井市・田布施町・平生町・山口市及び、山口県農業共済組合が農業費用等の補助金制度を実施している。

問 市の今後の対策は。

産業振興部長 ジャンボタニシを除草に活用され、経費削減に効果の出ている農家もある。山口農林水産事務所や農業協同組合と連携し、農家の皆様に効果的な対策について周知していく。

要望 平成31年、県下12農協が統合され、県一農協となる。農業者が行政区の違いに関わらず平等な行政サービスが受けられるよう、切に願います。

新庁舎建設・農業試験場の誘致

田中 健次(市民クラブ)

問 選挙公報で「現在地での早期建替えを実現」としているが、どう取り組まれるのか。

市長 2案の検討資料作成作業を委託しており、早期にまとめ、議員の意見を伺い、進めていく。

問 市執行部の内部で、どう方針化するのか。

市長 現在設置している庁内検討委員会で自分がトップとなり、進める。

問 市議会との意見調整はどのようするか。

市長 市議会の庁舎建設調査特別委員会、全員協議会等の場で議員の意見を賜りたい。

問 平成29年3月策定の1庁舎建設基本構想・基本計画はどのようするか。

総務部長 必要に応じて構想・計画は改訂する。

問 比較検討資料作成の業務委託は、契約変更が必要ではないか。

総務部長 8月下旬に特別委員会を開き、議員の

意見を聴き、必要に応じて契約を変更する。

要望 市民への説明とともに、意見



聴取として、シンポジウム、パブリックコメント等も検討してほしい。

問 県農業試験場の誘致にどの取り組まれるのか。

市長 「やまぐち維新プラン」の素案に農業大学校と農業試験場の統合が掲げられた。県に積極的な要望する。県施設の移転であり、直接的な市の負担はない。

意見 道路等の周辺整備で市の負担が生じないようにはすべきだ。

その他の質問項目
◆(仮)市産業戦略本部の構成・役割

道路等不具合通報アプリについて

山根 祐一(公明党)

問 平成26年に千葉市の通報アプリを一般質問で取り上げた。これは市民が道路、公園、ごみ等の課題をアプリで写真撮影し、場所をGPSで特定して市に送信するものだ。調査研究することであるが、その後、導入自治体も増え、県内では宇部市や周南市が導入している。今後の取組を伺う。

市長 他市のシステムについて研究し、個人情報保護やセキュリティについて、様々な対策が講じられていると確認している。宇部市と周南市では、補修場所と状況がわかり、素早い対応が可能になった。市民にとっては補修状況を確認できるメリットがあり、市は業務の効率化が図れると考えられる。しかし、両市とも匿名での通報としているため問題点もあると聞いている。拙速な導入にならないよう検討する。

問 アプリでの通報は道路の不具合が多いが、道路課の受付状況は。

土木都市建設部長 平成27年度から3年間で約3,000件。

問 宇部市、周南市のシステム導入費用はどうか。

総務部長 宇部市は導入費32万円、維持費年65万円、ダウンロード数は700件、通報は年平均180件。周南市はダウンロード数1,600件、通報は導入後3か月で210件。

意見 周南市は平成30年4月に導入し、導入費110万円、維持費年36万円と聞いている。市民の安心・安全と市民サービスの観点から是非システムの導入をお願いしたい。

その他の質問項目
◆窓口サービス向上について



新庁舎建設について 中学生まで医療費無料化を

山本 久江（日本共産党）

- 問** 市長は、「1日も早く現在地で建替えを」との考えだが、今後の計画はどのようにすすめるのか。
- 市長** 現在進めている「新庁舎建設比較検討資料作成支援業務」については、今後、両案を作成し、特別委員会等の場で説明したい。
- 問** 駅北公有地エリアに生涯学習機能と福祉系機能の配置案が示されているが、この方向で進めるのか。
- 市長** 公共施設マネジメント基本方針の観点から、再検討をしている。
- 問** 市民への計画周知は。
- 総務部長** 効果的な周知を考えたい。
- 問** 子ども医療費無料化制度を中学生まで拡充してほしいが、どうか。
- 健康福祉部長** 要望が大変高い施策と認識しているが、恒久財源の確保が課題。子どもの医療費に



- 対する支援は、市全体の施策の中で、将来を見据えて検討したい。
- 問** 市立保育所の民営化は見直すべきと考えるが、どうか。
- 市長** 行政改革委員会からの答申については尊重すべきと考えるが、私としては保育を取り巻く環境の変化を踏まえた見直しが必要と考えているので、今後しっかりと現場の声や意見を聞きながら対応していきたい。
- 問** 公共施設のブロック塀の点検と今後の対応は。
- 教育部長** 小学校15校で36箇所、中学校8校で33箇所には不適合の可能性があり、撤去、改修等の措置を早急に行う。
- 総務部長** 学校以外で、27箇所には不適合があり、危険度の高いものから速やかに対応する。
- 問** 小・中学校の教室環境の整備の現状は。
- 教育部長** 改築した学校にはエアコンを設置し、その他の学校の普通教室には扇風機を1教室あたり4台設置している。
- 冬の寒さ対策は、全小・中学校にエアコンまたはストーブを設置している。
- 問** 文科省は学校教室の望ましい温度を17℃以上28℃以下に見直したが、どのように受け止めているか。
- 教育部長** 学校環境整備について検討が必要。
- 問** 温度28℃以下に向けた対策は。
- 教育部長** エアコンのない教室では扇風機の使用や衣服の調整、必要に応じてエアコンが設置された特別教室で授業を行う。
- 問** 温度17℃以上に向けた対策は。
- 教育部長** エアコンまたはストーブで対応する。
- 問** 小・中学校全ての普通教室に、エアコン設置の計画を立てて頂きたい。
- 教育部長** 学校施設の設備状況や必要経費については調査中。多額の予算が必要となるので、他の教育施策との優先順位を検討。国の補助事業は調査済みだが、他市の補助採択を見ると「狭き門」である。現在は調査・検討の段階であり、計画までには至っていない。
- 要望** 文科省が教室の望ましい温度を見直した本来の意味を考えると、小・中学校全ての普通教室にエアコン設置の早期実現の計画を要望する。
- その他の質問項目**
◆学校給食の無償化について

小・中学校全ての普通教室に エアコン設置を

清水 力志（日本共産党）



高齢者が幸せを実感できる 「幸齢社会」の構築を願って

高砂 朋子（公明党）

- 問** 地域包括ケアシステム構築に向けた取組について4点伺う。①在宅医療と介護の連携推進について②認知症の方の行方不明を早期発見・保護する「みまもりSOSネットワーク」、認知症サポートワーク、認知症サポートーナー養成講座のさらなる推進について③介護保険給付対象の住宅改修における支払いを負担の大きい「償還払い」から「受領委任払い」へ制度変更することについて④地域包括支援センターへの専門分野からの支援強化について
- 健康福祉部長** ①平成27年度から「医療・介護連携推進協議会」を立ち上げ、課題抽出、その対策に取り組んでいる。②「みまもりSOSネットワーク」へ登録された認知症高齢者は104人。平成30年度から「みまもりスレッカー」交付を開始、「みまもり模擬訓練」も実施予定。認知症サポートーナー養成とフォローアップにも取り組む。③他市の状況を見て調査研究の上、検討する。④専門分野との連携強化を図り、地域包括支援センターの職員が地域で活躍できる環境を整備する。
- 問** 生涯現役の社会づくりが重要であるが、高齢者の実践的な社会参加と地域づくりの促進について市の取組を伺う。
- 健康福祉部長** 平成29年度、要支援者等の利用者を対象に住民が主体となつて提供する生活支援サービスを支援するため、「幸せます型補助金」を創設し、現在9団体が活動。高齢者の困りごと解決のため、老人クラブ等による「ほうふ・こごネット」の実証実験も行っている。



市長選を振り返って 基金の運用について

久保 潤爾(無所属の会)

問 市長選挙は非常に僅差の戦いとなり、投票率も約47%と、池田新市長は、圧倒的な支持を得て当選された訳ではない。

市長 私は、地理的状况、歴史的背景から、防府市は単独市制であり続けるべきであると考えており、合併反対の立場であった。それは今でも変わらない。職員に対する訓示、議会での所信表明でもその旨を述べている。

問 人口減少、少子高齢化に伴い、全国的に財政状況の厳しい自治体が増えている中で、基金の運

用で目覚ましい実績をあげている自治体がある。市の基金運用状況はどうなっているのか。

会計管理者 直近3年間で約870万円から約1,470万円の間で推移している。

問 本市より規模の小さい自治体が、基金を一括管理し、積極的に運用することで、約3億円の収入をあげているが、どう考えるか。

会計管理者 安全性の確保の面からも、基金の一括管理は取り組むべきものと考えている。

問 基金運用での収入は財政的に大きな効果をもたらすと考えるが、市長はどう思われるか。

市長 国債のマイナス金利が続く状況で容易なところではないが、安全性を確保しつつ、運用収入の増加を図り、財政に貢献することは重要なことと考えている。

用で目覚ましい実績をあげている自治体がある。市の基金運用状況はどうなっているのか。

住民票等の証明欄、 環状1号線の供用開始時期について

田中 敏靖(自由民主党市議会)

問 住民票及び印鑑証明書住所欄に山口県防府市が無いのはなぜか?記載してはどうか。

生活環境部長 平成24年7月の電算システムの更改時から、費用を抑えるため、システム事業者の提供する既製の標準様式を利用している。市民の皆様に分かりやすい証明書となり、防府市の名称に愛着を持っていただくことにも繋がるため、なるべく早期に対応する。

問 都市計画道路環状1号線の供用開始はいつか?

市長 県から「平成30年度中の供用開始を目指している」との回答を得ている。

問 都市計画道路松崎牟礼線の工事進捗状況と完成予定は?

市長 環状1号線から、西側の市の花木センターまでの410mの区間について、平成25年度より

着手している。環状1号線から市道沖今宿坂本線までの区間は平成29年度に完成し、残りの市道岸津敷山線交差点までは8割の用地買収が完了している。平成30年度中に残り2割の用地買収を終わらせ、平成31年度から馬刀川の橋梁工事を言めた道路改良工事を、早期完了に向けて進める。

問 都市計画道路松崎牟礼線の工事進捗状況と完成予定は?

市長 桑山中学校の南、県道防府停車場向島線から西の華城小学校手前の市道本橋八河内線までの1,600mの区間を供用開始し、残り1,100mが未整備となっている。家屋密集地につき費用がかかるため、事業実施は困難であるが、華城小学校西側の市道小徳田野地線に接続する区間については、引き続き検討する。

市長 環状1号線から、西側の市の花木センターまでの410mの区間について、平成25年度より

着手している。環状1号線から市道沖今宿坂本線までの区間は平成29年度に完成し、残りの市道岸津敷山線交差点までは8割の用地買収が完了している。平成30年度中に残り2割の用地買収を終わらせ、平成31年度から馬刀川の橋梁工事を言めた道路改良工事を、早期完了に向けて進める。

長期政権は弊害 多選自粛条例を提案 市長 次回出馬の機会に、市民に確約

三原 昭治(絆)

問 市長選挙では、前市長の市政継承か、刷新か大きな争点となり、その要因として多選についての賛否があったが、長期政権による多選については、どう考えるか。

市長 一般的には、市政の硬直化や独走化、施策のマンネリ化や偏りを招くといったデメリットが挙げられており、最長でも3期と言われている。

問 市長は刷新を訴えて当選されたが、何をどのように刷新するのか。

市長 市政運営で2点を訴えた。1点目は、単独市制を貴くため、市で出来ることには限界があり、県や国としっかり連携していくこと。2点目は、市民の声をしっかりと聞き、しっかりと判断し、スピード感をもって市政運営に当たること。

問 前市長は初当選時に任期は3期が適当と言ったが、結果5期20年と、

長期にわたる市政運営が行われてきた。市民に約束するという観点から、自身の時限立法として多選自粛条例を提案しては、

市長 2期目出馬の機会を得た際には、公約として確約したい。

問 市長選挙で強調した地域活動に対する支援の充実強化の考えは。

市長 活動における諸問題で現場の声を聞いた。今後、自治会の活動をさらに充実させるため、市自治会連合会、各自治会の意見をしっかりと聞いて支援充実を図りたい。

問 市が自治会に交付する振興助成金、事務委託費は20年間、全く改定されていない。また、自治会活動の拠点となる自治会館の新設、改修補助金も、近隣市と比べ随分低い。どう受け止めるか。

市長 意見をしっかりと聞いて、トータル的に取り組みたい。

長期にわたる市政運営が行われてきた。市民に約束するという観点から、自身の時限立法として多選自粛条例を提案しては、

防府読売マラソンの運営について 100円バスの導入について

清水 浩司（自由民主党市政会）

問 防府読売マラソンのコース認定のうちに新コースを検討したかどうか。

市長 同マラソンは昭和45年に第1回大会が開催になり、第46回大会からはIPC登録選手が活躍できる大会として認知されてきている。

平成29年の大会は、川内優輝選手が3度目の優勝を飾り、IPC部門では、道下美里選手が世界記録を更新するなど素晴らしい大会になった。

現コースの認定期間が平成31年3月27日までとなっているので、第50回に向け、スタート時の混雑解消や安全面に配慮したコースになるよう防府読売マラソンコース検討委員会でも検討しているところ。

市長 関係機関と連携を図りながら、給水所補助

員の配置の見直しを行い、受け取りが確実になるように体制を整えたい。

問 高齢者の免許返納者を増やすためにも100円バスを導入して欲しい。

市長 多額の財政負担が見込まれるので導入は困難であると考ええる。

しかし、地域の皆様の生活交通に対する不安を解消していく必要があるため、地域の意見を聞き、様々な実証実験の検討を行い、地域の実情に合った取組を進めてまいりたい。

※IPC部門とは、視覚に障害をお持ちの方で、IPC（国際パラリンピック委員会）登録選手が対象となる部門です。



河川の水害対策と情報発信について

吉村 祐太郎（爽風会）

問 7月の初めに豪雨が降った際、右田地区で道路が冠水していた。

県が拡幅工事を行っている「清水川」は現在工事が休止しているが、現状はどうなっているのか。

市長 平成21年7月の豪雨災害の際に、甚大な被害が発生した。市政においては、「市民の皆様が命が第一であり、暮らしの安心・安全は最優先で取り組むべきもの」と考えている。

様々なことを総合的に判断し、国・県へ要望したいと考えている。

問 右田地区において、先月から既存の河川を使用し流量を調整する調査がされているが、現状は。

市長 市では、地元の方々と一緒に既存の水路を最大限活用し、浸水被害を軽減する方法について試験的に運用しており、現在、その効果の検



証作業を進めている。

問 3月議会で情報発信課が現在導入しているフェイスブックの他、ライン・インスタグラム・ツイッターを導入することだったが、現状は。

総務部長 フェイスブックでは運用を始めてから10か月間で約300件の情報を発信している。他のSNSも有効な手法と認識しているので、導入に向けて検討している。



観光振興について 大規模公園の設置について

河杉 憲一（自由民主党清流会）

問 市の観光客数は、約215万人、県の観光客数は約3、215万人で、率にすると約6・8%と少ない。今後の観光振興の取組は。

市長 市には、防府天満宮、国分寺など歴史的資源が多くあり、以前より「西の奈良・防府」と言われてきた。しかし、観光地としては、周遊型で滞在時間が短く、観光消費も少ない。今後は、行政と民間が一体となって観光客数の増と観光消費を拡大していきたい。

問 観光まちづくりの取組は。

産業振興部長 観光まちづくりは地域が主体となり、その土地が持つ地域資源を住民自らが活用し、交流人口を拡大しようとするのである。これには人材育成が重要で、研修会を開くなど環境づくりに努めて行きたい。

問 市民から要望もある

大規模公園を設置しては。

土木都市建設部長 市には天神山公園、大平山公園など規模の大きい公園が4カ所あり他市と比較しても遜色はないと考えている。しかしながら、市民からの根強い要望もあると承知しているが、財政状況を勘案し、長期的な課題としたい。

要望 市民の交流の場やレクリエーション活動の場を提供するのにも行政の役割だと思つ。

その他の質問項目
◆ 明治維新150年記念における取組状況
◆ 緑の基本計画について



大平山 山頂公園

通学路の安全対策について

藤村 こそえ(自由民主党市政会)

問 平成30年5月、新潟市において下校途中の7歳児童の命が奪われるという痛ましい事件が発生。6月には大阪北部地震で通学中の児童が倒壊したブロック塀の犠牲になるなど、通学中の児童生徒の安全確保は最優先に取り組まれるべき社会の要である。市の通学路の安全対策について伺う。

教育長 「防府市通学路交通安全プログラム」に基づき、保護者、地域、学校、道路管理者が連携し、毎年、通学路の合同点検を実施している。防犯の観点からは児童生徒が一人で歩く区間、見守りのない空白地帯の危険箇所の合同点検を平成30年9月末までに実施する。
問 学校、他の公共施設でも多数の建築基準法に適合していないブロック塀があるが、なぜか。
土木都市建設部長 建築確認の際にブロック塀は

ほとんど申請されていない。

要望 安さを優先した独自の施工方法がまかり通っているように思う。安全対策に本腰を入れてほしい。「交通安全プログラム」で公表されている危険箇所と対策については、安易な解決ではなく、最善の対策を考え、その情報をすべての人が共有できるように一覧にいただきたい。



安全対策が必要な華城小学校前

問 市内最大の小・中学校の通学路で、特に安全対策が必要とな華城小学校
前の通学路の安全対策について、その後の進捗は。
土木都市建設部長 都市計画道路の延伸について引き続き検討する。

市長の公約、多目的広場の新設について

和田 敏明(改革)

問 市長が選挙公約に掲げられた4つの柱について具体的な内容を伺う。

(1)「防災・減災いちばん」(2)「産業いちばん」(3)「くらし便利さいちばん」(4)「ひとつになれる市政がいちばん」について質問。
選挙前に配られた「防府いちばんニュース」には、駅北公有地エリアと比較検討することを否定され、庁舎建設は早急に現在地でと書かれている。今の流れのまま両案を比較検討するのであれば、何ら変わらない。

市長 それは、私が出したのではない。見たこともない。

問 池田市長の顔写真と名前が掲載されているものを本人確認もせず発行されたのか。
市長 承知していないものは答弁のしようがない。他、複数再質問。

問 多目的広場の新設については、地元の自治会

連合会長や自治会長の方々などにも相談しながら候補地を探し、平成26年には提言した。これまでの答弁では期待させておきながら、5年経過。早急にスポーツのできる、又、災害時の発生土砂や流木の仮置き場になり得る多目的広場の設置のための用地確保をすべき。

市長 市の北部地域にも災害時の避難拠点となる近隣公園などの公共施設は必要。「防災機能」を重視しながら慎重に適地を選定する。

意見 多目的広場を新設できる場所は限られている。早急に用地確保をしなければ場所がなくなる。他、複数再質問。

議会懇談会を開催

(6月10日)

華浦小学校通級指導教室保護者の会からの申込みにより、通級指導教室増設の必要性について、教育民生委員会は議会懇談会を開催しました。

趣旨説明 市の通級指導教室数は、県内他市と比較しても決して多くはない。特に中学校は1校のみであり、指導が必要にも関わらず、中学校での通級指導を断念する状況にある子どももいる。また、幼児部への通級希望者が急増しているが、市にある幼児部の2校は、定員枠に達しており、通級希望が叶わない状況にある。

通級指導を受けるきっかけの大半は、教員からのアドバイスが多いが、他市と比べると、通級指導に対する認識の低さや周知の不徹底を感じる。対象児童生徒の指導方法や目標、日々の様子を記した「個別の指導計画」を活用し、適切な支援及び必要な指導をお願いしたい。

問 主な質疑は次のとおりです。
通級指導希望者は何人位いるのか。

答 確かな希望者数は不明だが、対象者は1クラス6%程と言われている。

問 個別の指導計画は活用されていないのか。
答 個別の指導計画について知らない教員もいる。作成はある程度進められているが、活用は不十分な状況である。

懇談後、委員で協議した結果、通級指導教室幼児部も含めた考えを執行部に聞き、市としての方向性等を確認するため、所管事務調査を行い、今後の対応を検討することを決定しました。

※今議会で見解書の提出が可決されました。(P3参照)



登録有形文化財の登録

平成30年7月20日に国の文化審議会文化財分科会で、防府市から3件の文化財建造物が、登録有形文化財として登録されました。

登録された建造物は次のとおりです。

- 白石家住宅主屋 (大正7年建築)
- 白石家住宅呉服蔵 (明治21年建築)
- 白石家住宅道具蔵及び食物蔵 (明治21年建築)

3件全て個人所有で、所在地は宮市町1番15号です。

過去には、防府天満宮の本殿・幣殿・拝殿、春風楼などが登録されており、直近では平成27年3月に富海の清水家住宅主屋が登録されています。

今回の登録に伴い、山口県の登録有形文化財は、101件となり、うち防府市内では13件となりました。



白石家住宅主屋外観

◆登録有形文化財の登録基準

1. 国土の歴史的景観に寄与しているもの
2. 造形の規範となっているもの
3. 再現することが容易でないもの

議会意見箱に皆様の「ご意見をお寄せください」

前号でもお知らせしましたとおり、平成30年4月1日から、防府市議会意見箱を設置しています。

意見箱設置後の初めての議会である7月定例議会中に、2件のご意見をお寄せいただきました。意見箱のご利用に感謝申し上げます。

いただいたご意見については、市議会内で共有し、その対応について協議させていただきます。今後の議会活動の充実、議会改革推進のために役立てていきたいと考えています。

本会議や委員会は、どなたでも煩雑な手続きの必要なく、傍聴ができます。本号の裏表紙には、9月定例議会の予定を記載しておりますので、ぜひ議会の傍聴していただき、お気づきの点等を、意見箱にお寄せください。



議会報告会

ご参加いただき、ありがとうございました

議会報告会は、議会基本条例に基づき、市自治会連合会と共催で平成23年から開催しており、本年が8年目となります。6月4日から12日まで、16会場で開催し、322名の方のご参加をいただきました。心からお礼申し上げます。

市議会の役割や昨年度議会で協議・審議した各委員会(総務委員会・教育民生委員会・産業建設委員会・庁舎建設調査特別委員会・総合交通体系調査特別委員会)の報告に対し、市民の皆様からご意見やご提言をいただきました。これらは、市執行部へ伝えるとともに議会として今後の協議・審議に活かしてまいります。

| 地区名 | 人数 |
|-----|-----|
| 富海 | 20人 |
| 松崎 | 19人 |
| 牟礼 | 19人 |
| 佐波 | 9人 |
| 華城 | 27人 |
| 右田 | 18人 |
| 新田 | 25人 |
| 向島 | 33人 |
| 西浦 | 36人 |
| 華浦 | 10人 |
| 玉祖 | 27人 |
| 中関 | 12人 |
| 野島 | 20人 |
| 小野 | 23人 |
| 大道 | 8人 |
| 勝間 | 16人 |



各地区の報告会の様子

議会日誌

5月

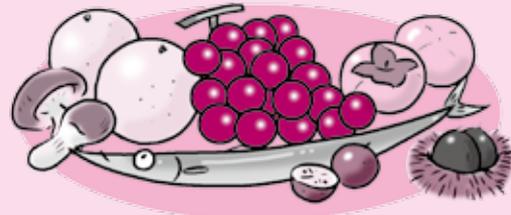
- 18日 議会改革の視察受入(福井県敦賀市)
- 29日 会派代表者会議
全員協議会
- 31日 議会改革の視察受入(山口県光市)

- 20日 予算委員会(全体会)
- 23日 常任委員会・予算分科会(総務)
- 24日 常任委員会・予算分科会(教育民生)
- 25日 常任委員会(産業建設)
- 27日 予算委員会(全体会)
勉強会

6月

- 4日 議会報告会(松崎・富海)
- 5日 議会報告会(佐波・牟礼)
議会懇談会(教育民生委員会)
- 6日 議会報告会(右田・華城)
- 7日 議会報告会(新田・向島・西浦)
- 8日 議会報告会(玉祖・華浦)
- 9日 議会報告会(中関・野島)
- 11日 議会報告会(小野・大道)
- 12日 議会報告会(勝間)
- 22日 教育民生委員会(所管事務調査)

- 8月1日 7月定例議会閉会
広報編集委員会



7月

- 2日 勉強会
- 3日 議会運営委員会
- 9日 7月定例議会開会
広報編集委員会
- 12日 本会議(一般質問)
会派代表者会議
- 13日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(一般質問)
会派代表者会議
- 18日 本会議(一般質問)
議会運営委員会

9月定例議会の予定

- 9月 3日 本会議(開会)
- 5日 本会議(一般質問)
- 6日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 13日 予算委員会(全体会)
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会
(総務・教育民生・産業建設)
- 19日 一般・特別会計決算特別委員会
- 20日 一般・特別会計決算特別委員会
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会
- 26日 予算委員会(全体会・採決)
- 10月 1日 本会議(閉会)

会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

編集後記

今回の議会だよりの表紙には、7月28日に開催された「防府おどり」の様子を取り上げました。市内16企業・団体から700人の参加があり、トリを務めたのは防府市役所チームでした。

踊りの熱気は大歓迎ですが、今年の猛暑は、各地で最高気温を更新する等、異常ともいえるほどになっており、本市でも7月24日に37.3℃を記録しています。

学校のエアコン設置や東京オリンピックの開催時期の再検討が話題に挙がってくるほど、暑い夏になっています。

厳しい暑さが訪れる前の6月18日に大阪北部地震が発生、7月6日の西日本豪雨では本市でも避難指示が出るほどの豪雨になりました。災害の多い日本列島ですが、近年特に自然災害が多発しています。災害に強いまちづくりが大事だと強く感じます。

議会だよりも、市民の皆様のおかげで5号に到達しました。これからも多くの方に親しんでいただけるような紙面にしたいと考えています。

議会広報編集委員会

◎清水浩司 曾我好則

◎久保潤爾 橋本龍太郎

河村 孝

(◎委員長、○副委員長)